

令和8年度 第1回 甲斐市水道審議会 会議録

1 開会日時 令和8年7月21日（火）午前10時

2 開催場所 甲斐市役所 本館3階 大会議室

3 出席者 （委員）9人

・清水正二 ・高橋博次 ・伏見浩二 ・小田切聡
・功刀千斗夫 ・桂嶋恵美 ・中込清美 ・花形保彦
・阿部智子

（日本水工設計株式会社）3人

4 事務局
・保坂 武 市長
・保坂 義実 公営企業部長
・森川 嘉亮 上下水道業務課長 ・芳賀 康貴 上下水道工務課長
・古田 悟大 上下水道総務係長 ・岡 浩之 上水道施設係長
・安井萌々花 上下水道総務係主任

5 会議次第
1 開会
2 会長あいさつ
3 市長あいさつ
4 諮問
5 案件
（1）甲斐市水道審議会について
（2）検討イメージと策定までのスケジュールについて
（3）甲斐市第2次水道事業経営戦略及び
アセットマネジメント計画の概要について
6 その他
7 閉会

6 発言要旨

【第1回甲斐市水道審議会】

(司会：上下水道業務課長)

－午前10時 開会－

1 開会

【司会】 本日はお忙しい中、また酷暑の中、令和8年度第1回甲斐市水道審議会にご出席を賜りまして誠にありがとうございます。

また、本日の会議録を甲斐市ウェブサイトにて公表いたします。会議録作成のため録音をさせていただきますので、ご承知のほどよろしくお願いいたします。

令和8年度となり、新たに委員に就任された方もおりますので、本日出席されている委員の皆さまの紹介をさせていただきます。

(司会による委員の紹介)

2 会長あいさつ

【司会】 清水会長から挨拶をいただきます。

【会長】 おはようございます。委員の皆さまにおかれましては、ご多忙の中、また厳しい暑さの中をお集まりいただき誠にありがとうございます。

今年度の審議会におきましては、甲斐市第2次水道事業経営戦略及びアセットマネジメント計画の策定について、市長から諮問を受け、皆さまにご審議をいただくこととなりました。現在、全国の水道事業を取り巻く環境は、人口減少に伴う収益の減少や施設の老朽化、災害への備えなど、多くの課題に直面しております。本計画は、こうした課題を克服し、持続可能な経営を実現するための極めて重要なものです。

市民の皆さまの生活を支える安心・安全な水道水を将来にわたって安定的に供給していくため、会長として、皆さまとともに慎重かつ活発な審議を行い、より良い戦略及び計画の策定を目指してまいりたいと考えております。委員の皆さまには、それぞれの立場から貴重なご意見・ご提言を賜りますようお願い申し上げ、私からの挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

3 市長あいさつ

【司会】 保坂市長から挨拶をいただきます。

【市長】 改めましておはようございます。本日は、お忙しいところご出席いただき、誠にありがとうございます。

さて、本審議会は、本市の水道事業及び簡易水道事業の適正な運営を図るため、設置されているものであり、市の水道事業等について、市長の諮問に対し、必要な事項を審議していただく機関となっております。現在、本市の水道事業につきましては、甲斐市第3次水道ビ

ジョンにおいて目標として掲げる「安全な水道」、「安定性の高い水道」、「持続可能な健全経営」に向け、日々取り組んでいるところであります。

今年度は甲斐市経営戦略及びアセットマネジメント計画の最終年度となります。今後は、甲斐市第 3 次水道ビジョン及び国が示す指針等に基づき、水道施設の更新需要や財政収支の見通しを分析し、甲斐市第 2 次水道事業経営戦略及びアセットマネジメント計画を策定することとなります。本計画の妥当性について審議をお願い申し上げ、挨拶といたします。

4 諮問

【司会】 続きまして、諮問に移ります。保坂市長よろしく願いいたします。

【市長】 本市の水道事業は、施設の老朽化に伴う更新需要の増大や節水機器の普及による料金収入の減少等により、経営環境は絶えず変化し続けております。

また、総務省では、持続的かつ安定的に事業の運営を行うため、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を図り、より質の高い経営戦略への改定を求めています。

あわせて、国土交通省では、施設の更新需要予測を行い、それを踏まえた中長期的な財政収支の試算を実施したアセットマネジメントを推進しているところですが、施設配置の適正化をはじめ、水道行政及び社会情勢の変化を反映することとし、アセットマネジメントについても、更なる精度の向上を求めています。

水道事業は、令和 8 年 3 月に策定した甲斐市第 3 次水道ビジョンに基づき、事業の運営をしているところですが、今後においても、安心で安全な水を安定供給するため、国が示す指針等に基づき、甲斐市第 2 次水道事業経営戦略及びアセットマネジメント計画を策定することといたしました。策定にあたり、甲斐市水道審議会条例第 2 条の規定により、本審議会に対し、策定内容の妥当性について諮問いたします。

5 案件

【司会】 それでは、案件に移ります。清水会長、会議の進行をお願いいたします。

【会長】 事務局から説明があったように議事は私が進めて参りますので、よろしくお願いいたします。では、案件の（1）から（3）について事務局から説明をお願いいたします。

（事務局により審議会次第に沿って、案件（1）～（3）一括説明）

【会長】 ただいま案件（1）～（3）について、説明が終わりました。これについて、ご意見をお伺いしたいと思います。

【委員】 令和 8 年度から第 3 次水道ビジョンに基づくこととなりますが、今回の第 2 次水道事業経営戦略及びアセットマネジメント計画はその詳細ということでしょうか。

【事務局】 第 3 次水道ビジョンは見通しや将来像といったイメージの計画となります。今回の第 2 次水道事業経営戦略及びアセットマネジメント計画は施設の更新計画等に伴う投資・財政計画を立てるものとなっています。

【会長】 収支見通しや更新需要の予測を盛り込んだ数値的な資料が欲しいです。大まかな試算があれば、議論の論点が明確になるのではないのでしょうか。

【事務局】 今回の審議会では、計画の目的や概要についてご説明いたします。次回以降の審議会において、数値的根拠を提示したいと考えております。

【委員】 資料 13 ページで投資の合理化を検討し、料金水準の適正化を図る必要があるとありますが、現時点で料金改定は想定しているのでしょうか。

【事務局】 令和 7 年度の料金改定により、収益が増加した一方、老朽化施設等の更新費用も増加傾向にあります。今後の料金改定については、算出された更新需要等の結果を踏まえ、必要な投資を見極めた上で検討いたします。なお、料金改定が必要と判断された場合には、別途審議会へ諮ることとなります。

【会長】 ほかにありますか。ご意見が無いようなので、議事を終了し、進行を事務局へお返しします。

6 その他

7 閉会

【司会】 閉会の挨拶を高橋副会長お願いいたします。

【副会長】 閉会にあたりまして、ご挨拶を申し上げます。本日は、ご多忙の折、また長時間にわたり、熱心にご審議いただき誠にありがとうございました。本日が第 1 回の審議会でしたが、委員の皆さまからは、示唆に富む貴重なご意見を数多く頂戴いたしました。事務局におかれましては、本日出された意見を十分に整理し、次回の検討に繋げていただくようお願いいたします。また、委員の皆さまにおかれましては、引き続き格別のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。以上をもちまして、簡単ではございますが、閉会の挨拶とさせていただきます。

【司会】 以上をもちまして、令和 8 年度第 1 回水道審議会を終了いたします。お疲れ様でございました。ありがとうございました。

—午前 11 時 閉会—